

令和5年度

湖南省外部評価委員会 議事録

第1回会議

(令和5年 12 月1日開催)

湖南省行財政改革推進課

出席者

外部評価委員

委員長(Web 参加)

新川 達郎

副委員長(Web 参加)

田中 正志

委員(Web 参加)

原田 徹

委員(Web 参加)

壬生 裕子

委員(Web 参加)

横山 幸司

事務局

総務部長

西岡 嘉幸

行財政改革推進課長

森岡 和也

行財政改革推進課長補佐

山元 正樹

行財政改革推進課長主査

檜崎 道清

開会 午前10時00分

事務局 本日は公私ご多用の中、委員の皆様におかれましてはご出席をいただき厚くお礼申し上げます。ただいまから、令和5年度第1回目湖南省行政改革外部評価委員会の方開催をさせていただきます。本日の会議の司会をさせていただきます行財政改革推進課 森岡 でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本日の会議につきましては、お手元の会議資料に基づき、進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは、開会に先立ち、先立ちまして総務部長 西岡 よりご挨拶をさせていただきます。

総務部長 **【総務部長挨拶】**

事務局 続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。本日の会議資料に委員名簿を記載させていただいておりますので、ご覧いただきたいと思っております。

【委員紹介・事務局紹介】

事務局 それでは、ここで、本日の湖南省行政改革外部評価委員会の成立につきまして、報告させていただきます。

委員5名に対しまして、出席委員は5名であります。半数以上の出席がありますことから、「湖南省行政改革外部評価委員会運営規則第5条第2項」の規定に基づきまして、会議が成立していることを報告いたします。続きまして、会議次第4の委員長及び副委員長の選出についてご説明させていただきます。「湖南省行政改革外部評価委員会運営規則第4条第2項」に基づきまして、本委員会の委員長及び副委員長は委員の互選により定めるところとなっております。どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。

委員 **【事務局提案を了承】**

事務局 事務局の方からのご提案を了承いただきましたので、これまでの経緯を踏まえまして、委員長につきましては、同志社大学名誉教授の新川委員、副委員長には公認会計士・税理士の田中委員にお願いしてさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

委員 **【異議なし】**

事務局

どうもありがとうございます。

それではただいま委員長、副委員長が決定いたしましたので、「湖南省行政改革外部評価委員会運営規則第5条第3項」の規定により、委員長は会議を総理するというので、これより新川委員長の方に本委員会の進行の方をお願いしたいと思います。それでは委員長よろしく願いいたします。

委員長

【委員長挨拶】

委員長

それでは、この会議次第に従いまして、本日は進めさせていただければというふうに思います。早速ですが、湖南省行政改革外部評価委員会の会議の公開及び会議内容等の公表についてご審議をお願いしたいと思います。事務局から、会議の公開や公表についてご説明よろしく願いいたします。

事務局

それでは、会議次第5につきましてご説明をさせていただきます。本市の会議は、透明性の向上と公正の確保を図るとともに、市民の市政への参画を目的に公開を原則としていますことから、この会議においては、これまでと同様に議事録を作成し、議事録での発言内容については個別の委員の名前を伏せた形で、市のホームページ等で公表させていただきたいと考えております。また、委員会の基本情報として、設置目的及び委員の氏名等も名簿として公表させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。会議の傍聴に関してですが、「湖南省行政改革外部評価委員会運営規則」におきましても、会議の公開については明記しておりませんが、原則公開の方向で進めさせていただきたく、この場でご確認の方をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

委員長

ただいま事務局から、議事録の公表、設置目的や委員名簿の公表ということについて、これまで同様に公表ということでご提案がございました。公開性、透明性というのが問われている時代で当然の措置であろうかと思いますが、この点について何か各委員からご質問ご意見ございましたら、いただければと思いますが。

公表、公開、傍聴許可ということでもよろしいでしょうか。

委員

【意見なし】

委員長	<p>特に異論がないということでございますので、議事録、設置目的、名簿の公表、傍聴についても、これまで同様に会議を公開して進めさせていただきたいというふうに思います。</p>
委員長	<p>それでは早速ですが、令和5年度第1回湖南省行政改革外部評価委員会を進めさせていただきます。本日の議題は三つございます。順次進めて参りたいというふうに思います。議題の(1)第4次湖南省行政改革大綱実施計画の取り組み状況について、事務局からご説明をよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>【事務局説明】</p>
委員	<p>1-1、それから2-2-1について絞って申し上げたい。まず、地域自治組織地域、まちづくり協議会、或いはコミュニティ政策に関しましては、小規模多機能自治やコミュニティビジネスとか、非常に綺麗な言葉が並んでいますが、今日の人口減少、超少子高齢化社会を背景に地域の自治というものは非常に逼迫しております。その中で、やみくもに人的支援、財的支援をするのではなくて、まず地域の棚卸しをしなくては行けない。行政が何をやるべきなのか、市民は何をやるべきか。地域は最小限、何を担ってもらえるか。協働してやっていくべきことは何なのか整理、もっと言うとスクラップしないといけません。市民の皆さんは、人手不足、高齢化といった中で、大変負担感を増しております。もう自治会の仕事さえできない、お手上げだということが現実に全国で起こっています。支援というのは、まずそういった現状をきちんと棚卸しをした上で、意欲的なところがあれば、それは支援していくのがいいと思います。自治体にとりましては大変難しい作業ですから、私はそこを避けているような感じがします。しかし、私は正面から立ち向かわなきゃいけないと改めて申し上げたい。それから、もう1点。オープンデータも流行っておりますが、いっこうにこういった政策が進まない。なぜかと申し上げますと、それが何に使われるのか、目的は何なのか、何のためにそのデータを出すのか、出口が全く分からないからなのです。これは言うてみれば、そうしたデータを用いて、こういう事業をして欲しいというものを行政が示さないといけません。或いは政策そのものを提案していただいて、一緒にやっっていこうということであれば、民間提案の政策を受け付ける窓口を設けるとか、そして、それを市民協働政策や公民連携政策に繋げていくような仕組みを市として持つとか、そういう出口戦略というものを持たなければ、ただ何か出しますよ、何かあるから使ってくださいでは、いっこうに進まないと思いま</p>

す。以上、2点申し上げます。

事務局

今年度でいきますと、小規模多機能自治基本構想というものを整理させていただき、タウンミーティングを4回させていただいた中で、同じようなお話を市民の方からされました。担い手不足というのは本当に現実的に厳しい状態であるということ。今回、市が進めていく小規模多機能自治に分散化の話もありましたが、具体的に示せていなかったということで、何を小規模の中でするのがうまく伝わらなかったのかなと感じています。ご意見いただいたことを、地域やまちづくり協議会の支援に反映させていただくような形で取り組んでいきたいと考えています。

次に、オープンデータは国が進めていく部分の中で、どういうものが本当に活用できるのか正直難しいと思いつつも、進めて行かないといけなと思っています。2年前は県域の方で、オープンデータを進めるというお話もありましたが、現在、ここは止まっているような形であります。データを出せばそれでいいのか、何に活用するのかというところまで踏み込んでいかないと感じています。例えばGISやグーグルマップにおとすような形で、より視覚的にわかりやすいようなオープンデータ化に結びつけていくのも一つなのかなということで参考にさせていただきたいと思います。

委員

補助金について、指針を改定されたということではありますが、なかなか見直しが進んでいないが、令和6年度につきましては、予算に見直した結果が反映されるということでよろしいでしょうか。

事務局

その部分につきまして、次の議題の時にご説明をさせていただきます。

委員

第2の政策の2の母子手帳についてデジタル化して、相談の記録等をデジタル化する項目ですけれども、取組実施内容を見てみますと、令和4年情報収集を行う、令和5年も情報収集を行うということで、実質なかなか進んでないというのが実態ではないかと思えます。なぜ全く進まないのか教えていただきたいなと思えます。

事務局

実施計画にこのテーマを上げ、市として取り組んでいくということで、健康政策課と話をしながら、DXを入れて、職員の負担が下がる、また、利用者にも利便性があるということでしたが、事業を実施する職員の方になかなか進められないところではございました。もう一つの要因といたしましては、情報システムの標準化が国の方で今進められております。令和7年度に切り

替えるという中で、標準化業務の 20 業務中に、この健康政策に関するシステムもオンされるというところで、現在、国が定めた仕様に基づいて、標準化システムを構築しているタイミングで、この先へ進んでいくものとピンポイントにマッチするというものが、なかなか探せないという現状にもございます。標準化システムの構築のタイミングとほぼ同じタイミングになっている5年、6年、7年の中で何とか実行したいと思っています。おうみ自治体クラウドと協議しながら、何とか達成していきたいと考えております。

委員

先ほども質問されていたコミュニティとの連携に関する取り組み項目についてです。地域まちづくり協議会の人的支援であるとか、コミュニティビジネスの支援や地域人材の育成といった取り組みを進めていこうとしますと、これに携わる職員の方の能力開発というのが、とても大事になってくるかなというふうに思いますが、どのような研修や情報収集の機会というのを提供されているのか、確保されているのかというのを教えていただいてもよろしいでしょうか。

事務局

昨年度は、全職員を含め、まちづくり協議会とはという基礎的なところから研修をさせていただいております。職員全てがその仕組みを知ってないといけないというところで、全庁的に1回。それと幹部職、特に係長級以上というところについては、さらに他の形での研修をさせていただきました。また、小規模多機能自治のタウンミーティングには、なるべく多くの職員が出席をさせていただいて、地域の方がどういうふうに感じているかということをきちっと学習しながら、まずは制度的なものの研修というのをさせていただいております。

委員

職員全体に関してはそういう取り組みを着実に進めていくというのが大事だと思います。地域まちづくり担当の職員は他の職員と違って、より専門的にノウハウを持っている必要があるのではないかなと考えるのですが、それについてはどんなフォローがされているかご存知でしょうか。

事務局

地域まちづくり担当職員というのは課長級以上の職員の構成の中で、部長、次長、また地域まちづくり担当という地域ごとに分けた形で、課長級が配属されています。地域のまちづくり協議会と、月に1回話し合いをしながら研修をするような形の取り組みというのをやっているのですが、その専門的な部分に関して研修されているというところは今のところはないと聞いています。

総務部長 市町の職員研修所の集合研修の中で、地域連携とか、職員がもっと地域に目を開かせるようなもの、業務外のこと、そういったものの研修を受講するようには促しているところではございます。

委員 ありがとうございます。実施計画に書かれている内容は地域にもかなり厳しいことを望むような内容になっているかなというふうに私自身感じましたので、それを支援していく役割を担う方にもそれなりのスキルを持ってもらいたいなというふうに思いました。以上です。

委員 オープンデータの推進に関して、データをたどえ公開したとしてもあまり活用されていないんじゃないかということがご指摘されていたかと思います。それにあたり、うまく活用された例というものを併せて掲載して差し上げたりすると活用のイメージが湧くのではないかなと思いました。ただ教えただけで学生は動いてくれるわけじゃなくて、実際やって見せて、初めて分かってもらえるみたいなどころもあります。参考事例というか、活用事例みたいなのがあるといいのではないかなと思ったというしだいです。以上です。

事務局 なるべくわかりやすいように事例的なものについては、何か取り組んでいきたいなと考えております。

委員 オープンデータのそのデータの置き場所は県が出しておられる県内各市町がそれぞれ見られるネットページに出しておられるということで良かったでしょうか。

事務局 専用サイトを県で作っていただいています。

委員 私もそれを見させてもらいましたが、市町によってかなりデータの数にばらつきがあり、大津市は500余り、草津市も100余りということで多いところもありますが、甲賀市、湖南市、栗東市は10件までということで、かなりばらつきがあるということです。利用される方がどういう利用の仕方があるかなと考えながら出すという思考は大事ですけれども、現状は余りにもデータ数が少な過ぎる。まず出していくことも必要かと思います。こういうものはある程度数値目標というのを入れて、まず出すという思考も必要かなと思います。

事務局 取り組んでいるところは全庁的に広めているのが結果として、データの数

になるのかなと実感しております。根本的には数が少ないので、もう少し全庁的に呼びかけをし、先ほど仰っていただいた事例みたいなものを示し、何とか目標値をつけて取り組んでいきたいなと思っています。

委員 新しく今回導入されました介護サービスの要介護認定の申請の手続きについて、タブレットを購入し、システムを導入する取り組み。この取組計画で令和6年50%、令和7年で100%とありますが、システムを導入したら100%使うということではないのでしょうか。

事務局 介護サービスの要介護認定で、チェックシートで書いたものを、システムに取り込むことをしていたのですが、このタブレットを使うこと今までの紙のチェックシートは、タブレットの中のシステムになるという部分。利用割合のところまでは、詳しく確認が出来ていなかったのですが、この利用割合というのが、利用者数に対して、まずは50%を目指すということではないかと。確認をしたいと思います。

委員長 それでは、第4次湖南省行政改革大綱実施計画、令和4年度、5年度につきましては、まち協について本当にこれまでの地域、それから行政の棚卸し、論点の整理、その上で実施に向けて進めていただきたいということでご意見をいただきました。また、担当の職員の方々、特に中心的に担当される方の専門性、知識や能力をしっかりと整えて、地域の皆さん方とよりよい仕組みづくりに向かえるように能力の向上を図っていただきたいことでご意見をいただきました。オープンデータにつきましては、データの提供をどう飛躍的に増やしていくのか。また、それを広く活用していただけるような手だてというのをぜひ考えていただきたいということでご意見をいただきました。その他、補助金改革あるいは中々進んでいない公共施設の総合的な管理の問題、また遊休地の整理の問題等と中々目標が達成できないふるさと納税等々課題はたくさんありますが、これらについてももしっかりお進めいただければというふうに思っております。よろしく願いをいたします。

議題(2)補助金等の見直しに関する指針の改訂について

事務局 【事務局説明】

委員 私から2点申し上げたいと思います。まず補助金の指針、シートを整備されたということにつきましては良かったなと思います。1点目は、役所内だけ

で、見直しをしても、対外的な補助金は、地域や団体、しがらみがあって、中々切れない、見直したくても見直せないとかがあるかなと思います。ですから、市長直轄のタスクフォース的なものを作って、それを内外にも示して、特別な体制をとるなり、あるいは私はご依頼を受けてやっていますが、専門家チームを編成し、市長から任命を受けて、外部からの視点で指摘助言をしていくことも方法の一つとしてありますので、ぜひご検討いただきたいなと思います。それから、この補助金の見直しの対象は、第3セクター等への出資は対象になるのでしょうかとお聞きしたいです。湖南市は、こなんウルトラパワー株式会社というような第3セクターと言ってよいのか出資の会社がありますね。採算はとれていますか、教えてください。多くの自治体で問題になっておりますのは、実は連結会計の対象です。出資団体の赤字垂れ流しが結構多い。ですから、一般行政の中の補助金等を見直すことはもちろん大事ですけども、そこだけを見ていたら、駄々洩れのところが見直されない。金額的には実はそっちの方がかなり問題だったりするわけです。だからそこにきちんとメスを入れていかなかったら、湖南市全体としての経営がうまくいかないということでちょっとお聞きしたい。

事務局

内部で切るというのは非常に私も難しいなというふうに感じています。財政部局であり、総務部自身に取り組んでも、関係所管の方も切れないというような補助金はあるかというふうに思っております。抜本的に補助金を見直そうという形になれば、やはり外部の組織を使う形で、ご意見としていただきたいと私たちも思っております。例えば、この会議で、ご意見や方向性みたいなのをさせていただけると非常にありがたいなというのは事務局からのお願いになります。ご協力をいただければありがたいなと思っております。

次にウルトラパワーのことですが、資料が今すぐ出てこないもので、赤字であるかどうかというところお時間をいただきたいなと思います。明確な数字を今確認させてもらいますので、時間をいただきたい。

委員長

補助金等を見直しに関する指針が改定をされ、実施されているということのようでございます。この見直しの結果につきましては、次回にご報告をいただけるかと思っております。その際、問題になるような点について各委員からご意見をいただくということで、今日のところはこの見直しの方針につきまして、ご意見をいただいたということで留めておきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、委員からもございましたが、見直しの手続きに際しての第三者的なチェック、問題事例についてのさらに深い検討、この辺りはこの外部評

価委員会の役割大きいのかかもしれません。この辺りの手順につきましても、少しご検討いただくということで進めていただければと思います。また、実際の見直しの詳細については、補助金ごとに結果をまたお示しをいただく中で、補助率であるとか金額であるとか使途であるとか、いろいろと検討しないといけないところ多々あるかと思いますが、そこは改めて検討させていただければというふうに思っております。そういう方針でよろしいでしょうか。

委員

【意見なし】

議題(3)業務改革におけるBPR(業務・組織の抜本的な見直し)について

事務局

【事務局説明】

委員

1点目。VA、NVA、SCの略語はどこかに示してありますか。業務手順書とか業務フロー図というのは、非常に私は重要だと思っています。最近、DXの導入でにわかに、この重要性がクローズアップされています。立派な取りまとめ図がありますけど、どこかコンサルに委託されていますか。この2点教えてください。

事務局

支援を受けながら、基本的には職員の方でできる限り行っておるところでございます。NVAは、Non value added、VAはvalue added、SCはstrategic coreです。

委員

私は大体わかりますが、コンサル用語ですよ。業務棚卸し、業務フロー図の作成、業務の調査に、従来の行政コンサルだけでなく、いろんな事業者が参入してきています。自治体がしっかり手綱を取って進めてください。

委員

ご説明いただいた業務プロセス。目指すところはまずは総合窓口を設置するということかなと思いました。スケジュール感はどんなイメージで進められておりますでしょうか。

事務局

今年度におきまして、例えばワンストップ総合窓口課における組織体制であるとかどのような業務の流れにするのがいいのかというところまでさせていただきます。ただ、この庁舎につきましては、今整備計画がありますので、できる部分から、できるだけ早く取り組んでいきたいということを今考えております。

委員	<p>庁舎整備と関連するため中々見通しが難しいところはあると思いますが、業務プロセスの分析はしたけれども、結局次の改善に繋がらないということにならないように、ぜひお願いしたいなと思います。</p>
委員長	<p>ご指摘の通り窓口サービスの総合化というのは待ったなしの課題です。本年度の検討も踏まえて、早い段階でできるところから、進めていただくところの工程表みたいなものを少しご検討いただくということではないかと思っております。実際の現場業務の改善とBPRの導入ということが並行して進み、市民サービスも向上する。より効果的・効率的な業務の進め方によっていくプロセスを作っていければ一番いいかなというふうに思っております。もちろん理想論ですので、現実難しいところもあるかと思っております。その他、先生方から何かございますでしょうか。</p> <p>業務改革のBPR導入これにつきましてはこれからということでございますのでまた本委員会にその進捗等をご報告いただいて、ご意見をいただくということにしたいと思いますが、そのような扱いでよろしいでしょうか。</p>
委員	【意見なし】
事務局	<p>先ほどご質問ありましたらウルトラパワーの関係は担当が来ておりますのでご説明いたします。</p>
環境政策課地域エネルギー室	<p>今年度のこなんウルトラパワーの決算報告の中で、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの当期の純利益としては715万9340円ということで、黒字運営となっております。</p>
委員	<p>出資以外に何か補助金とかは出していないですか。</p>
環境政策課地域エネルギー室	<p>こなんウルトラパワーが独自で環境省の補助金等を使いまして事業を実施しております。環境省の補助が3分の2ありますので、そこで運用しているような形になります。昨年度から湖南省脱炭素先行地域に選ばれたこともありまして、市の方から脱炭素先行地域への投資の補助としまして、環境省から出ている3分の2をそのまま補助金としてお渡ししております。</p>
委員	<p>3分の1は市の一般財源ってことですね。</p>

環境政策課地域エネルギー室	3分の1につきましては一般財源ではなく、こなんウルトラパワーの収益の中から運用しているものになります。
総務部長	<p>委員のご質問は、市が出資することについて、この指針とかを踏まえているのかという部分のご質問もあったかと思います。市が出資していた或いはしている団体は、最大は三つありました。一つは、市が全額出資した公益団体で、市が指定管理を出していましたが、選考を外れたことを契機に解散をしました。もう一つ市が出資していた株式会社がありますが、昨年度末で指定管理から外れたことをきっかけに残務整理を行って、解散の方向性を決めております。市が出資することについては、この補助金の指針には則ってはおりませんが、公費を投入するということは、指針に書かれた趣旨のことも踏まえて、判断をしております。こなんウルトラパワーで言いますと、設立当時に市、電力の需給調整をする会社、それと市内の有志の企業と共同出資で設立をしました。最近、市が事業の主体性をとるという意味で増資をしております。そういった時の判断は、やはり経営判断というところで、増資を決めたところでございます。</p>
委員	<p>市としてそうした出資団体、或いは外郭団体、第3セクター等への財政出資団体に対しましても、きちんと改革をされて進められているということをいうふうに受け取りました。引き続き健全な運営をよろしく願います。</p>
委員長	<p>市の出資或いは補助、その他について全般的にその出捐状況或いは支出状況、毎年度の変化を丁寧にフォローしておく必要があるかと思っております。事務局でも、しっかりと監視をしていただければというふうに思っております。それでは全体通じて各委員から、何かご意見ご質問があれば、最後に承って主要な議題は以上にしたしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	【意見なし】
委員長	<p>ありがとうございました。それでは、本日の議題の「その他」が残っておりますが、何かご連絡のようでございますでしょうか。</p>
事務局	<p>議題(4)その他</p> <p>次回の委員会の日程は2月か3月ごろで調整させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。</p>

委員長 ありがとうございます。次回につきましては2月、3月ということで予定をしておられるようでございます。その他について今後の予定をお話いただきましたが、特にご意見等なければ、以上になりたいと思いたしますがよろしいでしょうか。

委員 【意見なし】

委員長 それでは本日の議題はすべて終了いたしました。様々な観点からのご意見をたくさんいただきましてありがとうございました。事務局におかれましては、今日いただきましたご意見、特に行革の昨年度、今年度の進捗それに基づきまして、残り四半期ぐらいですけれどもこの間にさらに目標が達成できるようにお進めをいただくということ、また次年度に向けては、これまでの状況も踏まえて、次年度の目標が達成できるようにご尽力をいただきたいと思います。

補助金、それからBPRにつきましては、本日いただきました方針、当委員会でも、その方向でぜひ進めていただきたいということでご議論いただきました。次回の本委員会までにどこまで進んでいるのか、私どもの方にもご報告をいただくということにさせていただければと思っております。

それでは本日、様々な論点につきまして、充実したご議論いただきましたことを改めて感謝を申し上げまして、また事務局の皆様にはいろいろご準備いただいたこと感謝を申し上げまして私の出番は以上にさせていただきます。どうもありがとうございました。事務局にお返しさせていただきます。

事務局 委員長はじめ委員の皆様におかれましては長時間、ご議論いただきましてありがとうございました。地域コミュニティー、地域への支援、またオープンデータ、特にBPRについては作るだけでは意味がないと私たちも考えております。何とか進められるように調整していきたいというふうに考えております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

これをもちまして第1回湖南省行政改革外部評価委員会を閉会とさせていただきます。本日は皆様どうもありがとうございました。ありがとうございました。

閉会